



せるぷる

~ Selp People せるぷのひとびと ~

兵庫県社会就労センター協議会（兵庫セルプ）神戸事務所 神戸市中央区脇浜町 1-2-3-602
〒651-0072 TEL:078-291-7332 FAX:078-291-7356 MAIL: selp-kobe@deluxe.ocn.ne.jp
ホームページアドレス: <http://www.hyogo-selp.jp/>

2003年も兵庫セルプをよろしくお願い致します！

新年あけましておめでとうございます。旧年中は何かとお世話になり厚く御礼申し上げます。去る2002年の4月に、兵庫県より「兵庫県障害者しごと支援事業」を受託し、授産施設・作業所の工賃アップを目指し事業の運営を始めて、早いもので8ヶ月がすぎました。作業技術アドバイザーの派遣、仕事開拓推進員による施設・作業所ニーズ調査、指導員の皆様のスキルアップをはかる力量アップセミナーの開催など、全てをゼロから立ち上げ、2002年は兵庫セルプにとって大変な年でした。セルプの事業内容を皆様に知っていただくために、「広報誌せるぷる」を兵庫県内423ヶ所の施設・作業所に送らせていただきましたが、「セルプの方針がみえない」のご批判もあり、皆様と信頼関係を築く上で、至らぬ点が多々あったことを反省しています。

しかしながら、兵庫セルプの活動が徐々に皆様に受け入れられていく手応えを感じられた2002年でもありました。神戸新聞ではセルプの作業技術アドバイザーの派遣事業が紹介され、作業所の皆様にはセルプへの感謝の言葉を広報誌に掲載していただき、セルプ役職員一同にとってそれらは大きな喜

びとなりました。

平成のデフレ経済に苦しみ、世の中は不安と閉塞感に満ちています。施設・作業所での授産活動が今日の深刻な経済状況の影響を受けていることは言うまでもありません。そんな時代であるからこそ、2003年の兵庫セルプはしっかりとした目的意識と強い信念のもと、授産事業の活性化に取り組んでいく所存でございます。特に、企業サポーターとのネットワークシステムの構築、作業所自主製品の一般市場への売り込み、作業所製品の市場性を高める取り組みに力を注ぎたいと思っています。

今年の干支である羊にちなんだ「郡羊を借りて猛虎を攻む」の言葉のように、セルプ職員の一人一人の力は小さなものですが、役員と職員一丸となって、この不景気な時代に負けぬように、施設・作業所支援に取り組んでいく決意でございます。2002年同様、皆様には、相変わリませずご指導、ご支援をよろしくお願い申し上げます。

兵庫県社会就労センター協議会（兵庫セルプ）
兵庫県障害者しごと支援本部 神戸事務所

会長 高野 牧人

作業技術アドバイザー派遣事業

まち一番のベーカリーに大変身しませんか？

パンと焼き菓子は代表的な作業所製品のひとつです。地域に美味しいパンを届けるために、湿度や温度で微妙に変わるパン作りに悪戦苦闘なさっていませんか？今回は製パン・製菓担当の川野 正治 作業技術アドバイザーを紹介します。

施設の皆様こんにちは！
日頃はパン技術アドバイザーとして、いろんな施設に声をかけて頂いて、多種のパン作りに精をだしております川野と申します。フランスパン、ドイツパン、欧風パン、デニッシュ、ペーストリー、食パン、菓子パン、パウンドケーキ、クッキーなど多種のパン作りに頑張っております。パンの好きな方、パン作りに興味がある方、新製品を作りたい方など、皆様、お気軽に声をかけてください。
川野 正治

兵庫セルブの活動が紹介されました！
パソコン指導担当の小野尾アドバイザーの活動が神戸新聞淡路版で紹介されました。時代を反映して、現在、パソコン指導担当のアドバイザーはフル回転の状態です。施設・作業所の指導員の皆様、また利用者の皆様のニーズに素早く応え、お役に立てるように更に努力してまいります。是非、セルブの作業技術アドバイザー派遣事業を活用してください。

パソコンを使って年賀状を作った小規模作業所のメンバー＝東浦町役場



東浦ひまわり11人作業所

パソコンできれいに こだわり年賀状に挑戦

知的障害者の社会参加「技術（IT）講習会」として全国の市町村に導入（東浦町久留根）を進めているノートパソコンを使って、今年四月、同町役場でパソコンを使った年賀状作りに挑戦した。写真やメッセージ、あて名の入力に苦戦しながらも、自分だけの年賀状を完成させると歓声を上げていた。

同作業所は、国が情報

「神戸市中央区」のボラ

「養護学校のときの友だちに出すねん」と安賀和也さん（27）。来田公恵・同作業所指導員は「知的障害者にパソコンは無理というのは偏見。手助けさえあれば、手紙を書くと生活費を減らすことができる。教え、教えられながらつながらが生まれる」と話していた。

同作業所はホームページ作成のボランティアも募集している。同作業所 ☎0799・74・4877

「光明義塾」からパソコン講習会を請負っている。講師役は、役場の若手職員や、障害者の就労を支援する「兵庫SELFP」

ワークハウスノーブルさん(神戸市:小規模作業所)からも感謝のお便りをいただきました。

作業技術アドバイザーの派遣を始めて5ヶ月がたちました。最近、施設・作業所の皆様より感謝の声を寄せていただけるようになり、セルブ職員もうれしく思っています。この度は、ワークハウスノーブルさんがノーブル通信に鳥羽作業技術アドバイザーの記事を掲載してくださいました。

「・・・木工の作業技術アドバイザー鳥羽勲存先生が来てくださる事になって、現在週に2回、職員と利用者に木工を教えてくださいました。

さっています。ハーベスト・エムズ・ハートさんのお仕事がいよいよ、何とかやりこなしているのも、鳥羽先生のお力が多大であることをひしひしと感じ、心より感謝しています。目元のやさしいすっきりとしたお顔で、奥さんや赤ちゃんがいられるときいて、女性陣は「ショック」と言っていました。ハイテンションで、いつもけたたましいメンバーさんにも、笑顔で接して下さる温厚な性格の方で、見ていて気持ちが和みます。・・・」

～ノーブル通信 No.28 より～